



ほむろ

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 神メンタル「心が強い人」の人生は思い通り

星 渉 著 KADOKAWA

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2019年3月1日 Vol. 197

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

ライフコンサルタント 渡 邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

三千時間

こんな記事を目にしました。「アマゾンとはなぜ圧倒的に強いのか(答えのない時代の生き方戦略)」がありました。

「いまや私たちは誰もがアマゾンと無関係に暮すことはできない。1995年に創業、『地球上で最も豊富な品揃え』をスローガンに急成長。当初はオンラインの書籍販売からはじまり、今では靴や服、日用品、DVD、オフィスの事務用品、さらに生鮮食品を取り扱っている。桁外れの品揃えを可能にしているサービスが、アマゾン以外の外部事業者が商品を出品する『マーケットプレイス』。

マーケットプレイスで取り扱っている商品は、アマゾン直販の品数の30倍以上、約3億5千万品目以上に上る。アマゾンに出品する中小企業へ倉庫や在庫管理、決済、配送、カスタマーサービスなど様々なインフラサービスをアマゾンが代行する。マーケットプレイスに出品してどんどん成長している中小企業は少なくない。アマゾンは採算を度外視してでも、超大型の物流倉庫や小売店建設、新規事業に毎年巨額の資金を投資し続け、シェアを拡大してきた。日々凄まじいスピードで発展・拡大を続けるアマゾンのような超巨大企業と同じ土俵で戦っても、勝つのは非常に難しい。

日本人は、日本にしかない世界に通用する独自の価値にもっと目を向け、徹底して追及していく方が将来性がある。例えば、日本には茶道や華道、弓道や古武道など日本でしか学ぶことができない独自の文化がある。一定の答えが通用する時代は過去のもの。

これと決めたらとにかく片手間ではなく、ざっくり『三千時間』を費やしてみる。答えのない中で、どう行動すべきか、自分はどこに特化すべきかを考え、そこに三千時間を費やし、自分にはできない独自の価値を身につける人がこれからの時代に求められる人」と・・・。



勝算なきは戦わず。戦わずして勝つ。勝ちやすきに勝つ。それが独自の価値。見つけるにも時間がかかり、強みに磨きをかけるにも時間がかかる。『三千時間』は簡単には手に入らない。だから生き残ることができる。

これからの時代に生き残れるのは、決めた目標に集中して三千時間を作りだし、スピード感を持って具体的に行動することができる人たちです。私たち一人ひとりが思い描く“夢”を実現したいものですね。

成功のみかん箱

成功は大きな志からはじまる。ホンダを作った本田宗一郎氏は創業して間もない頃に、まだ町工場同然の会社で朝礼の度にみかんの空き箱の上に乗って「世界を目指す！」と宣言をした。その時、社員は皆、「うちの社長はなんて大ぼらふきなんだ・・・」と思ったそうです。

しかし、本田宗一郎氏は忍耐と努力で夢の実現に取り組み、やがてホンダはグローバルな会社へと成長し世界中の人に愛される大企業になりました。

そして、あのソフトバンクの孫正義氏も創業初日、アルバイトの人たちを前にみかん箱の上に立ち「わが社は5年以内に100億円、10年で500億円、いずれ1兆円企業になる」と演説したそうです。

皆さんはお気づきでしょうか？勝利の栄光を手にする人の共通点を・・・それは、「大きな志」と「みかん箱」。大志を抱く人は“みかん箱”が大好きなようです。そしてそこには夢を真剣に語るリーダーがいるということです。

日東電工、デンソーのトップもナンバー1を語っています。松下幸之助は「産業報国」を理念として語り、稲森和夫氏は「敬天愛人」を哲学として語っている。キャノンの「共生」、リコーの「お役立ち」という理念も創業者から生まれました。成功した多くの経営者は“夢”を語ってきました。経済環境が厳しい時代になってきたからこそ夢やビジョンが意味あるパワーを生んでいくように感じます。



【座右の銘にしたい名言】



自分自身を裏切らない努力の姿勢が、未来の結果として現れてくる。

(羽生善治/日本の将棋棋士)